YASKAWA

決算補足説明資料

2026年度 第2四半期 業績概要

注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

（対象期間：2026年3月1日～2026年8月31日）

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

本日はお忙しい中、当社 決算説明会にご参加いただきありがとうございます。

それでは、2026年度 上期の業績概要についてご説明いたします。

1ページにお進みください。

当決算におけるポイント（サマリー）

➢ 2026年度 上期 実績

➔ **売上収益** … 前年同期比+9.8%
・データセンタおよび半導体関連投資を中心とした需要の拡大により増収

➔ **営業利益** … 前年同期比▲5.5%
・経営基盤の強化を目的とした基幹システムの移行影響に加え、間接費の増加および欧州の事業構造改革費用の一時的な計上により減益

➔ **税引前利益** … 前年同期比＋3.0%
親会社の所有者に帰属する中間利益 … 前年同期比＋4.1%
・持分法による投資損益の計上により増益

➔ **第2四半期 受注** … 前年同期比+38%･前四半期比+13%
・データセンタおよび半導体関連投資を中心とした需要の拡大により好調に推移し、前年同期比･前四半期比ともに増加（過去最高の四半期受注額）

➢ 2026年度 通期 見通し

➔ **売上収益:6,000億円、営業利益:575億円**
・為替相場が円安水準で推移しているため通期の売上収益見通しを上方修正。
一方、基幹システム移行に伴う上期の減益影響等を踏まえ、営業利益見通しを下方修正
・26年度の年間配当予想は4月10日公表時から変更なし（一株当たり年間配当72円）

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

当決算におけるサマリーです。

詳しくはこの後にご説明いたします。

それでは、5ページにお進みください。

目次

1. 2026年度 上期 連結業績

- 2026年度 上期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2026年度 上期における取組み
- AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

2. 2026年度 通期 連結業績見通し

- 2026年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2026年度 下期における取組み

3. 参考資料

- 設備投資･研究開発費,為替レート･感応度
- B/S構造の推移
- 売上収益･営業利益推移
- 売上収益･営業利益 四半期推移
- 直近四半期営業利益増減要因分析
- 売上収益 四半期推移
- 四半期受注推移
- 参考定量情報

 © 2026 YASKAWA Electric Corporation

<スキップ>

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】
- ACサーボドライブ、コントローラ
- リニアモータ
- インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- PMモータ

など

ACサーボドライブ
Σ-Xシリーズ

マシンコントローラ
「MPX1310シリーズ」

YRMコントローラ
「YRM1030」

安川インバータGA700シリーズ

太陽光発電用
パワーコンディショナ
Enewell-SOL P3H

ロボット

【主要製品】
- 産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
  - ハンドリング用途向け
- AIロボット、人協働ロボット
- 半導体製造装置用ロボット
- バイオメディカル用途向けロボット

など

AIロボット「MOTOMAN NEXTシリーズ」

人協働ロボット
MOTOMAN-HC35

7軸アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1440E

システム エンジニアリング

【主要製品】
- 鉄鋼プラント用電気システム
- 港湾荷役用電気システム
- 上下水道用電気システム

など

鉄鋼プラント用
電気システム

港湾クレーン

その他

- 物流サービス

など

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

YASKAWA

1. 2026年度 上期 連結業績

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

2026年度 上期 実績

・売上収益は、データセンタおよび半導体関連を中心とした需要の拡大により、モーションコントロールセグメントを中心に販売が伸長し増加
・営業利益は、基幹システムの移行に伴う生産・出荷への影響に加え、間接費の増加や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより減少

	2026年度 上期 実績	2025年度 上期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上収益	2,856億円	2,602億円	+254億円	+9.8%
営業利益	221億円	233億円	▲13億円	▲5.5%
税引前利益	260億円	252億円	+8億円	+3.0%
親会社の所有者に帰属する中間利益	190億円	182億円	+7億円	+4.1%

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

26年度 上期の実績です。

当期の経営環境は、中東情勢をはじめとした地政学的リスクなどが継続したものの、
AI関連投資にけん引されたデータセンタおよび半導体関連を中心とした設備投資需要は
好調に推移しました。
また、一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。

このような中、当社グループの業績については、
経営基盤の強化を目的とした基幹システムの移行に伴う影響があったものの、
データセンタおよび半導体関連を中心に需要が拡大し、モーションコントロールセグメントを中心に
販売が伸長したことにより、売上収益は前年同期比で増加しました。

営業利益については、基幹システムの移行に伴う生産・出荷への影響に加え、
間接費の増加や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより、
前年同期比で減少しました。

売上収益は前年同期比9.8%増の2,856億円、
営業利益は5.5%減の221億円、
税引前利益は3.0%増の260億円、
中間利益は4.1%増の190億円です。

それでは、次の6ページにお進みください。

2026年度 上期 実績（セグメント別）

・売上収益は、モーションコントロールがけん引し増加
・営業利益は、モーションコントロールの増益が寄与もロボットの減益により減少

（単位：億円）	2026年度 上期 実績	2026年度 上期 利益率	2025年度 上期 実績	2025年度 上期 利益率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上収益	**2,856**		2,602		**+254**	**+9.8%**
モーションコントロール	**1,373**		1,128		**+244**	**+21.7%**
ロボット	**1,184**		1,192		**▲8**	**▲0.7%**
システムエンジニアリング	**208**		187		**+21**	**+11.2%**
その他	**91**		95		**▲3**	**▲3.5%**
営業利益	**221**	**7.7%**	233	9.0%	**▲13**	**▲5.5%**
モーションコントロール	**160**	**11.6%**	120	10.7%	**+39**	**+32.8%**
ロボット	**60**	**5.0%**	105	8.8%	**▲46**	**▲43.3%**
システムエンジニアリング	**35**	**16.8%**	19	10.4%	**+15**	**+79.5%**
その他	**6**	**6.3%**	9	9.9%	**▲4**	**▲38.5%**
消去または全社	**▲39**	-	▲21	-	**▲18**	**-**

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

売上収益、営業利益のセグメント別内訳です。

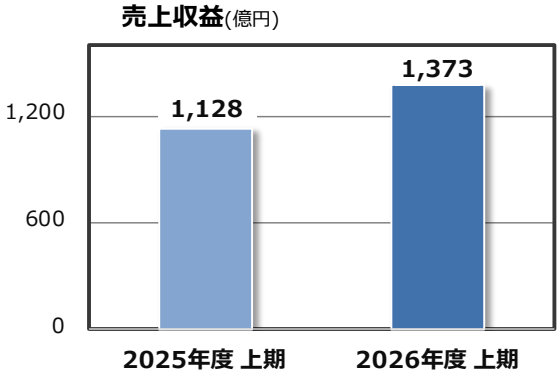
全社の売上収益は、モーションコントロールがけん引したことで前年同期比で増加しました。

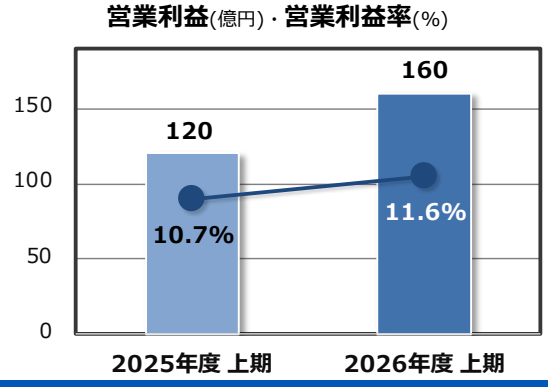
営業利益は、モーションコントロールの増益が寄与しましたが、
ロボットの減益により前年同期比で減少しました。

続いて、各セグメントの詳細についてご説明いたします。

次の7ページへお進み下さい。

主要事業の概要 モーションコントロール





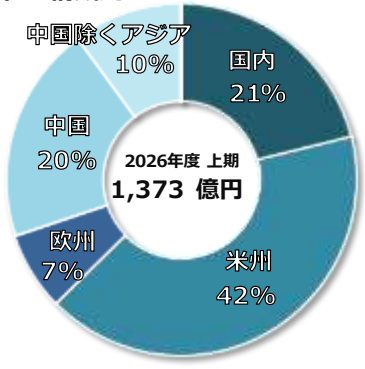
【売上収益】

- ACサーボは、半導体・電子部品関連や工作機械向けを中心に販売が伸長し、すべての地域で増収
- インバータは、データセンタ用途および半導体製造装置向けの他、オイル・ガス関連向けの販売拡大などにより増収

【営業利益】

- 基幹システムの移行に伴う生産への影響があったものの、売上増加により増益

所在地別売上収益構成比



© 2026 YASKAWA Electric Corporation

モーションコントロールの状況です。

売上収益は、前年同期比21.7%増の1,373億円、
営業利益は、32.8%増の160億円となりました。

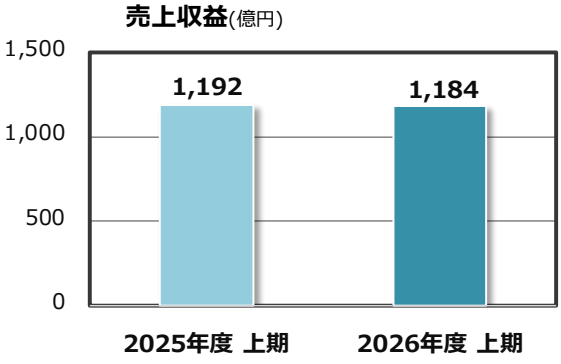
ACサーボは、半導体・電子部品関連や工作機械向けを中心に販売が伸長し、
すべての地域で増収となりました。

インバータは、データセンタ用途および半導体製造装置向けのほか、
オイル・ガス関連向けの販売拡大などにより、増収となりました。

利益面については、基幹システムの移行に伴う生産や出荷への影響がありましたが、
売上増加により増益となり、営業利益率は11.6%となりました。

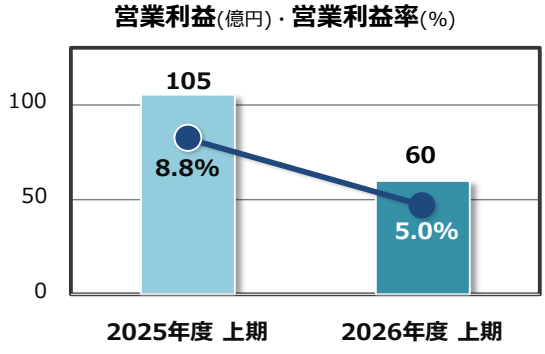
それでは、次の8ページへお進み下さい。

主要事業の概要 ロボット

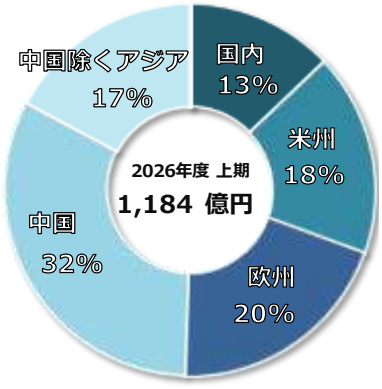


【売上収益】
- 自動車市場向けが堅調な米州や半導体ロボットの販売が好調な中国など海外での販売が拡大
- 一方、日本では基幹システム移行影響により販売が減少

【営業利益】
- 売上減少や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより減益



所在地別売上収益構成比



© 2026 YASKAWA Electric Corporation

ロボットの状況です。

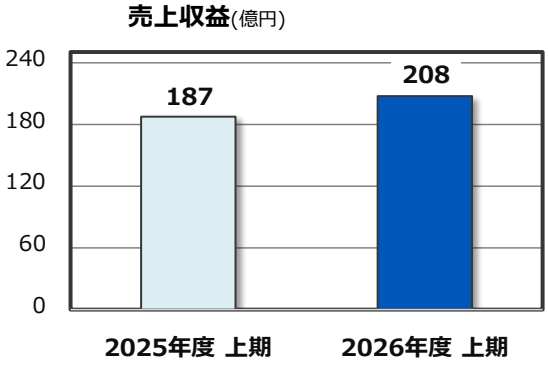
売上収益は、前年同期比0.7%減の1,184億円、
営業利益は、43.3%減の60億円となりました。

自動車市場向け販売が堅調だった米州や、
半導体ロボットの販売が好調に推移した中国など海外での販売が拡大しましたが、
日本における基幹システム移行影響により販売が減少し、
売上収益は前年同期比で微減となりました。

利益面については、売上減少や
欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより、前年同期比で減益となり、
営業利益率は5.0%となりました。

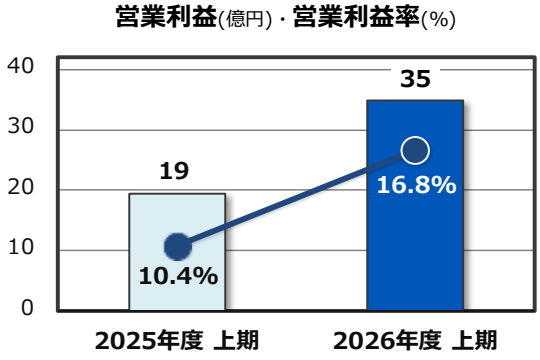
それでは、次の9ページにお進みください。

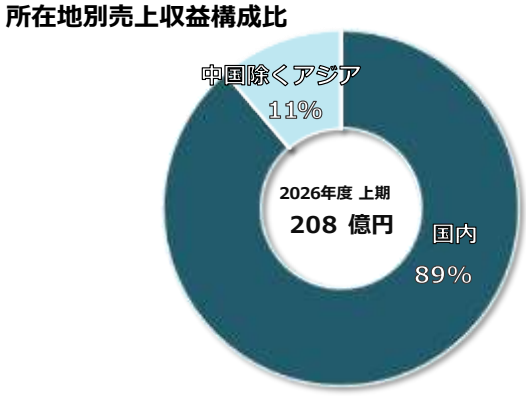
主要事業の概要 システムエンジニアリング



【売上収益】
- 港湾クレーン関連等の販売が拡大し増収

【営業利益】
- 売上増に加え案件の採算改善により大幅な増益





© 2026 YASKAWA Electric Corporation

システムエンジニアリングの状況です。

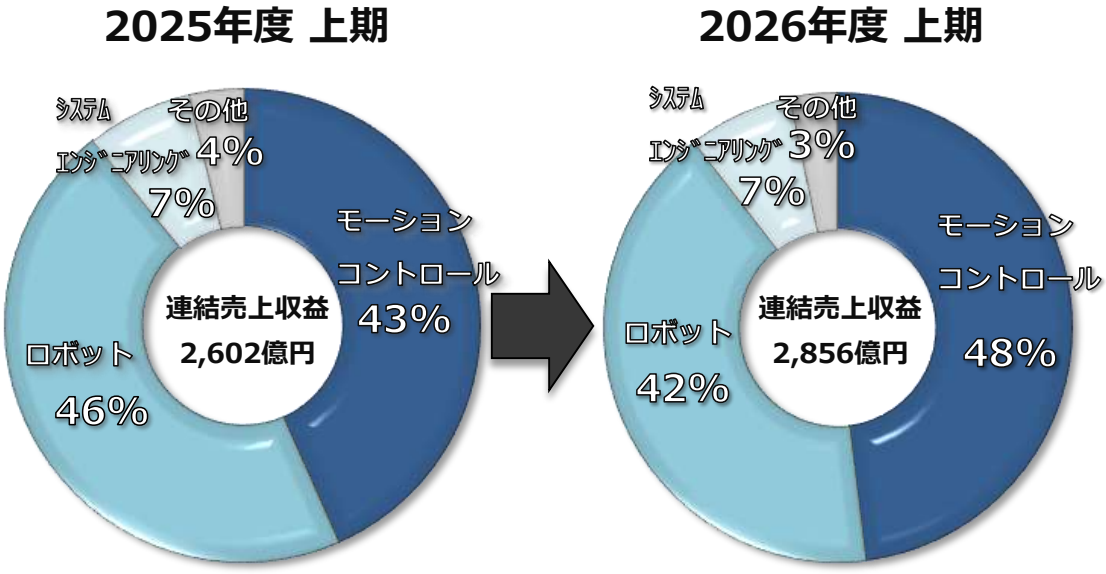
売上収益は、前年同期比11.2%増の208億円、
営業利益は、79.5%増の35億円となりました。

港湾クレーン関連などの販売が拡大したことにより、
売上収益は前年同期比で増加しました。

利益面についても、売上増に加え、
案件の採算改善により大幅な増益となり、
営業利益率は16.8%となりました。

それでは、次の10ページにお進みください。

事業セグメント別売上収益構成比



© 2026 YASKAWA Electric Corporation

セグメント別の売上収益 構成比です。

前年同期と比較すると、モーションコントロールが5ポイント増加した一方、
ロボットが4ポイント減少しました。

この結果、モーションコントロールは48%、ロボットは42%となりました。

システムエンジニアリングの構成比は7%となっております。

それでは、次の11ページにお進みください。

所在地別売上収益

・米州を中心に売上が増加

（単位：億円）	2026年度 上期 実績	2025年度 上期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上収益	**2,856**	2,602	**+254**	**+9.8%**
国内	**707**	730	**▲23**	**▲3.2%**
海外	**2,149**	1,872	**+277**	**+14.8%**
米州	**781**	619	**+162**	**+26.2%**
欧州	**335**	332	**+3**	**+0.8%**
中国	**667**	579	**+88**	**+15.1%**
中国除くアジア	**366**	341	**+25**	**+7.3%**

[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

上期の売上収益は、米州を中心に増加しました。

地域別の需要環境ですが、
国内については、半導体・電子部品関連を中心とした設備投資需要は好調に推移し、
一般産業分野においても自動化需要が回復しました。
また、慎重な投資姿勢が継続していた自動車市場においても回復の兆しが見られました。

米州では、データセンタおよび半導体関連の旺盛な需要が継続し、
自動車や一般産業向けの設備投資も底堅く推移しました。
また、オイル・ガス関連の大口案件も増加し、需要は高水準で推移しました。

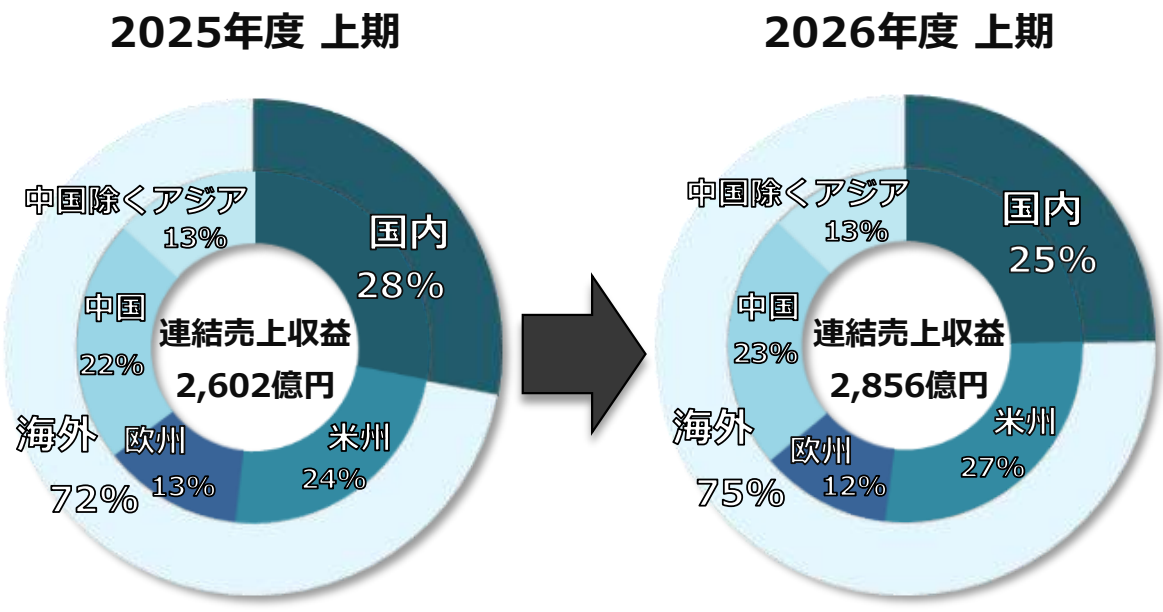
欧州については、自動車市場では慎重な投資姿勢が継続しましたが、
半導体関連需要が拡大しました。
また、製造業全般における需要は底堅く推移し、自動化需要にも回復の動きが見られました。

中国では、半導体関連投資の拡大を背景に需要は好調に推移し、
一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。
自動車市場は大口案件があった前年同期に比べて減少しましたが、
設備投資需要は底堅く推移しました。

中国除くアジアについては、韓国・台湾を中心とした半導体関連需要が高水準で推移するとともに、一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。

それでは、次の12ページにお進みください。

所在地別売上収益構成比



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

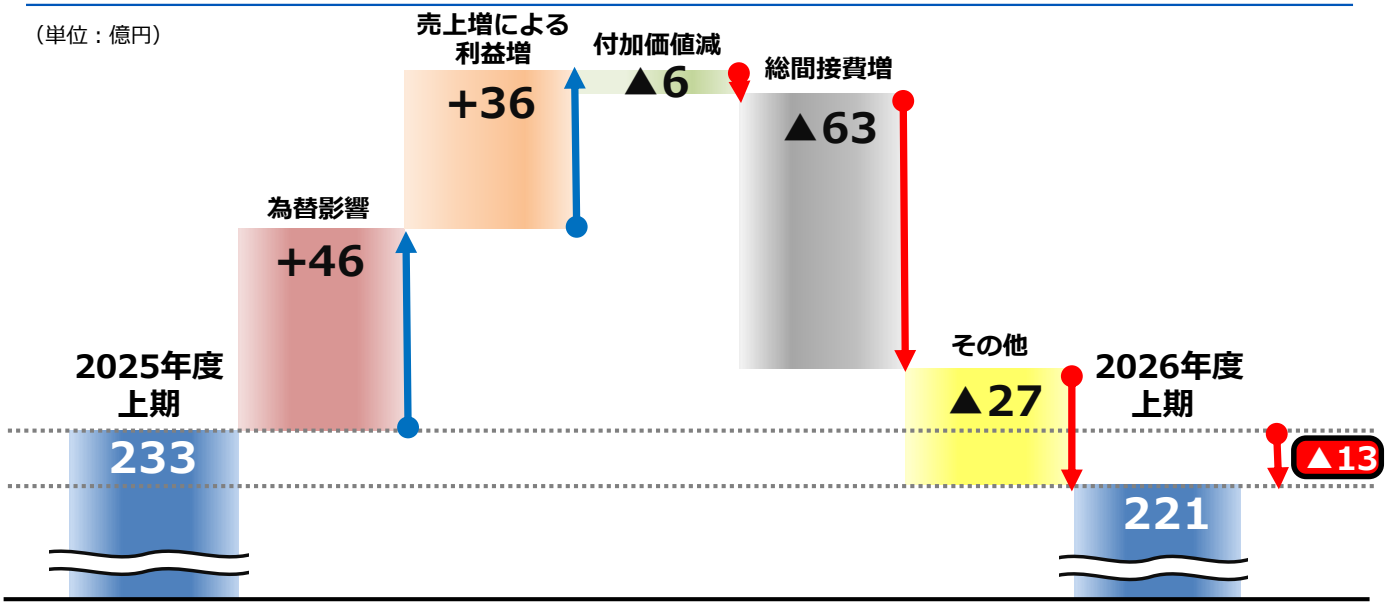
所在地別の売上収益 構成比は、
国内が前期から3ポイント減少し、25%に、
海外は3ポイント増加し、75%になりました。

海外の内訳として、欧州が1ポイント減少した一方で、
米州が3ポイント、中国が1ポイントそれぞれ増加しました。

それでは、次の13ページにお進みください。

営業利益増減要因分析（2025年度上期 ➔ 2026年度上期）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	＋ 26	＋ 80	▲ 27	▲ 37	▲ 3
ロボット	＋ 20	▲ 52	＋ 9	▲ 7	▲ 16
システムエンジニアリング	▲ 0	＋ 9	＋ 15	▲ 9	＋ 0
その他	＋ 0	▲1	▲ 3	▲ 11	▲ 8

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

営業利益の増減要因分析です。

当期の営業利益は、前年同期の233億円から13億円減少し、221億円となりました。

為替による影響は、各主要通貨が円安に推移し、プラス46億円。

売上増による利益増は、モーションコントロールの販売量増加により、プラス36億円。

付加価値はマイナス6億円。
棚卸評価損の減少がプラスに寄与した一方で、
基幹システムの移行に伴う生産への影響などによりマイナスとなりました。

総間接費の増加による影響は、
賃金の改善や減価償却費の増加などにより、マイナス63億円。

最後の「その他」はマイナス27億円。
欧州の事業構造改革費用に加え、前年同期に計上したその他収益の剥落が主な要因です。

それでは、次の14ページにお進みください。

2026年度 上期における取組み

各セグメントにおける取組み

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラ事業
・基幹システム移行の影響下において、増産に向けた体制を整備

インバータ事業
・U1000の強み（高調波抑制）を生かし、米国におけるデータセンタ建屋空調・サーバー冷却用途向け受注を獲得

マトリクスコンバータ「U1000」

ロボット

・ACサーボとロボットの一貫生産を行うロボット第５工場(福岡県北九州市)を本格稼働し、AIロボット「MOTOMAN NEXT」を活用したフィジカルAIを実践

分散セル方式による第5工場でのロボット生産の様子

システムエンジニアリング

・鉄鋼市場向け自動クレーンの案件を獲得
・南行橋事業所のシステムエンジニアリング工場を本格稼働

その他トピック

・経営基盤の強化に向けた基幹システムの移行を完了し、業務における運用定着に向けた取組みを重点的に実施
・パートナー企業との協創を通じ、AIロボット「MOTOMAN NEXT」を核としたフィジカルAIソリューションの開発・実証を推進

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

26年度上期における取組みです。

まず、モーションコントロールです。ACサーボモータ・コントローラ事業では、基幹システム移行の影響下において、増産に向けた体制を整備いたしました。
インバータ事業では、U1000の強みである高調波抑制を生かし、米国におけるデータセンタ建屋空調・サーバー冷却用途向けの受注を獲得いたしました。

次に、ロボットです。ACサーボとロボットの一貫生産を行うロボット第5工場を本格稼働し、AIロボット「MOTOMAN NEXT」を活用したフィジカルAIを実践いたしました。

システムエンジニアリングでは、鉄鋼市場向け自動クレーンの案件を獲得いたしました。また、南行橋事業所のシステムエンジニアリング工場を本格稼働いたしました。

その他のトピックとして、経営基盤の強化に向けた基幹システムの移行を完了し、業務における運用定着に向けた取組みを重点的に実施いたしました。また、パートナー企業との協創を通じ、AIロボット「MOTOMAN NEXT」を核としたフィジカルAIソリューションの開発・実証を推進いたしました。

次の15ページにお進みください。

AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

実際の導入事例

混載パレタイズシステムの開発

西部電機 株式会社 様

物流業界の人手不足解消に向け、物流センターにおいて省人化効果が期待される配送用什器への積付け作業の自動化を目指す。AIを活用して**異形段ボールを含む混載パターンを最適に判断**することで、高効率かつ安定した積付けの実現を図る。

食材トッピング工程の自動化

株式会社 ニップン 様

商品見本と実際の製品状態をAIが認識・比較し、自ら状況を判断して最適なソース充填動作を自律的に実行。
多品種生産に対応し、段取り替え工数の削減と品質の安定化を実現。
食品製造現場が直面する人手不足や品質のばらつきなどの課題解決を目指す。

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

AIロボティクス領域の拡大に向けた取組みとして、
自律型AIロボット「MOTOMAN NEXT」の
お客さまの導入事例です。

これまでのロボットでは自動化が難しかった領域への
展開を加速しています。

それでは、17ページにお進みください。

YASKAWA

2. 2026年度 通期 連結業績見通し

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

<スキップ>

2026年度 通期 見通し

・為替相場が円安水準で推移しており、売上収益の増加が見込まれる一方、基幹システム移行による上期の生産・出荷への影響等を織り込み、2026年4月10日公表の予想を修正

	2026年度 見通し	2025年度 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2026年度 前回見通し※
売上収益	6,000億円	5,421億円	+579億円	+10.7%	5,800億円
営業利益	575億円	473億円	+102億円	+21.5%	600億円
税引前利益	655億円	496億円	+159億円	+32.2%	650億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	475億円	352億円	+123億円	+34.8%	470億円

※2026年4月10日 2025年度通期決算発表時

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

2026年度 通期の業績見通しです。

為替相場が円安水準で推移しており、売上収益の増加が見込まれるため、
本年4月10日に公表しました業績見通しの売上収益を上方修正いたします。
一方で、基幹システム移行による上期の生産・出荷への影響等を織り込み、
営業利益を下方修正いたします。

売上収益は5,800億円から6,000億円に、
営業利益は600億円から575億円に、
税引前利益は650億円から655億円に、
当期利益は470億円から475億円に、
それぞれ修正いたします。

また、26年下期における平均為替レートについて、
本年4月10日公表の想定から見直します。

ドルは145円から155円、ユーロは170円から180円、
中国人民元は20.5円から22円、韓国ウォンは0.105円から0.107円といたします。

なお、配当予想につきましては、本年4月10日公表の内容から変更はありません。
中間配当は1株につき36円です。期末配当についても、1株につき36円を予定しています。

続いて、次の18ページにお進みください。

2026年度 通期 見通し（セグメント別）

（単位：億円）	2026年度 見通し	2026年度 利益率	2025年度 実績	2025年度 利益率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2026年度 前回見通し※	2026年度 利益率
売上収益	**6,000**		5,421		**+579**	**+10.7%**	5,800	
モーションコントロール	**2,903**		2,361		**+542**	**+23.0%**	2,800	
ロボット	**2,510**		2,470		**+40**	**+1.6%**	2,400	
システムエンジニアリング	**412**		387		**+25**	**+6.4%**	400	
その他	**175**		203		**▲28**	**▲13.7%**	200	
営業利益	**575**	**9.6%**	473	8.7%	**+102**	**+21.5%**	600	10.3%
モーションコントロール	**394**	**13.6%**	244	10.3%	**+150**	**+61.5%**	420	15.0%
ロボット	**178**	**7.1%**	204	8.3%	**▲26**	**▲12.8%**	210	8.7%
システムエンジニアリング	**56**	**13.5%**	50	12.9%	**+6**	**+11.3%**	32	8.0%
その他	**15**	**8.4%**	20	9.8%	**▲5**	**▲25.7%**	13	6.5%
消去または全社	**▲67**	**-**	▲45	-	**▲23**	**-**	▲ 75	-

※2026年4月10日 2025年度通期決算発表時

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

セグメント別の通期見通しです。

モーションコントロールの売上収益は、前回予想の2,800億円から2,903億円に、
営業利益は、420億円から394億円に。

ロボットの売上収益は、2,400億円から2,510億円に、
営業利益は、210億円から178億円に。

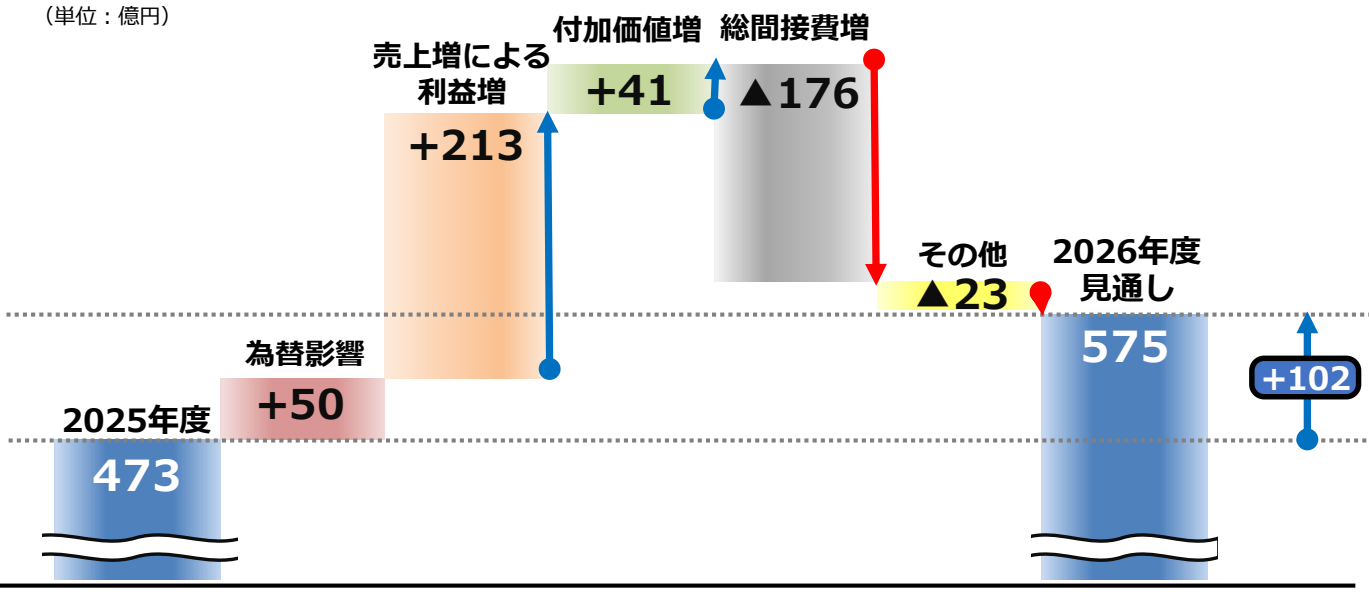
システムエンジニアリングの売上収益は、400億円から412億円に、
営業利益は、32億円から56億円に、

それぞれ修正します。

それでは、次の19ページにお進みください。

営業利益増減要因分析（2025年度 ➔ 2026年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	＋ 25	＋ 235	▲ 4	▲ 106	▲ 1
ロボット	＋ 25	▲ 32	＋ 26	▲ 33	▲ 13
システムエンジニアリング	＋ 0	＋ 11	＋ 16	▲ 21	▲ 1
その他	＋ 0	▲ 2	＋ 3	▲ 17	▲ 9

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

通期見通しにおける営業利益増減要因分析です。

26年度の営業利益は、前年度の473億円から102億円増加の
575億円を計画します。

為替による影響は、円安の影響を想定しプラス50億円。

売上増による利益増は、モーションコントロールの販売量増加によりプラス213億円。

付加価値の増加はプラス41億円。
前期のロボット大口案件の付加価値のマイナス影響が無くなることや、
システムエンジニアリングの好採算案件の増加を想定しています。

総間接費の増加による影響は、マイナス176億円。
減価償却費の増加や賃金の改善を織り込みます。

最後の「その他」はマイナス23億円。
欧州の事業構造改革費用に加え、
前期に計上したその他収益の剥落が主な要因です。

それでは、次の20ページにお進みください。

2026年度 下期における取組み

各セグメントにおける取組み

モーション コントロール	ACサーボモータ・コントローラ事業 ・製品供給の正常化と増産体制の構築 ・中国市場向け戦略製品（Σ-Mx）による受注拡大 インバータ事業 ・需要が好調なデータセンタ向けU1000の生産・販売の拡大 ・需要増に対応したベトナム拠点の基板供給体制の確立による SCMおよび需要地生産の強化
ロボット	・半導体製造装置用ロボットの受注増に対する増産体制の構築 ・MOTOMAN NEXTの実証成果を活用したパッケージの展開と パートナーとの協業によるAIロボティクスの社会実装の加速
システム エンジニアリング	・南行橋事業所の安定稼働に向けた取組み加速

ベトナム基板工場

その他トピック

・ヒューマノイドロボットの事業化に向けた、現場実証を通じた
データ蓄積と機体設計の加速

・MOTOMAN NEXTを活用した「いちごの選果」の
自動化ソリューションの現場導入

ヒューマノイドロボット用
アクチュエータ（開発中）

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

26年度下期における取組みです。

まず、モーションコントロールです。ACサーボモータ・コントローラ事業では、製品供給の正常化と増産体制の構築に取り組みます。また、中国市場向け戦略製品であるΣ-Mxによる受注拡大を図ります。
インバータ事業では、需要が好調なデータセンタ向けU1000の生産・販売を拡大いたします。加えて、需要増に対応したベトナム拠点の基板供給体制の確立により、SCMおよび需要地生産を強化いたします。

次に、ロボットです。半導体製造装置用ロボットの受注増に対する増産体制を構築いたします。また、MOTOMAN NEXTの実証成果を活用したパッケージの展開と、パートナーとの協業により、AIロボティクスの社会実装を加速いたします。

システムエンジニアリングでは、南行橋事業所の安定稼働に向けた取組みを加速いたします。

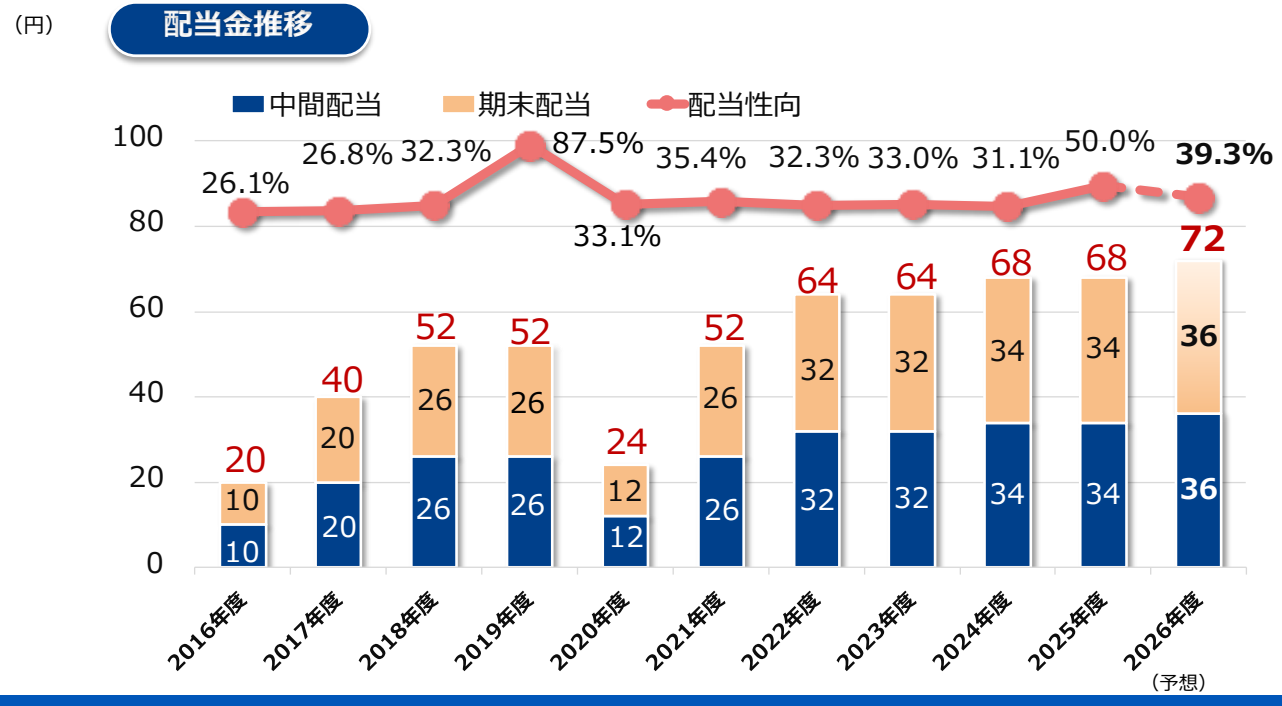
その他のトピックとして、ヒューマノイドロボットの事業化に向け、現場実証を通じたデータ蓄積と機体設計を加速いたします。また、MOTOMAN NEXTを活用した「いちごの選果」の自動化ソリューションの現場導入を進めてまいります。

以上をもちまして、2026年度上期の業績概要の説明を終わります。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

株主還元（配当金推移）

- 2026年度中間配当は、期初予想どおり1株当たり36円を実施
- 2026年度の年間配当予想は1株当たり72円を維持（予想配当性向39.3%）



© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

3. 参考資料

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

設備投資･研究開発費, 為替レート･感応度

設備投資･研究開発費の状況

（単位：億円）

	2024年度（実績）	2025年度（実績）	2026年度（計画）
設備投資額	406.7	570.4	580.0
減価償却費	208.0	210.8	260.0
研究開発投資	237.7	240.1	240.0

為替レート

（単位：円）

	2024年度（実績）			2025年度（実績）			2026年度（想定）		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	下期	通期
対　米ドル	153.7	151.6	152.7	146.2	153.7	149.9	159.8	155.0	157.4
対　ユーロ	166.6	161.3	164.0	166.0	179.8	172.8	184.9	180.0	182.5
対　元	21.23	21.01	21.12	20.26	21.80	21.01	23.48	22.00	22.74
対　ウォン	0.113	0.108	0.111	0.104	0.107	0.105	0.108	0.107	0.107

為替感応度

（単位：億円）

	1％変動による影響額目安（2026年度_通期）	
	売上収益	営業利益
米ドル	16.3	4.0
ユーロ	7.1	0.9
元	13.5	3.7
ウォン	4.0	1.8

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

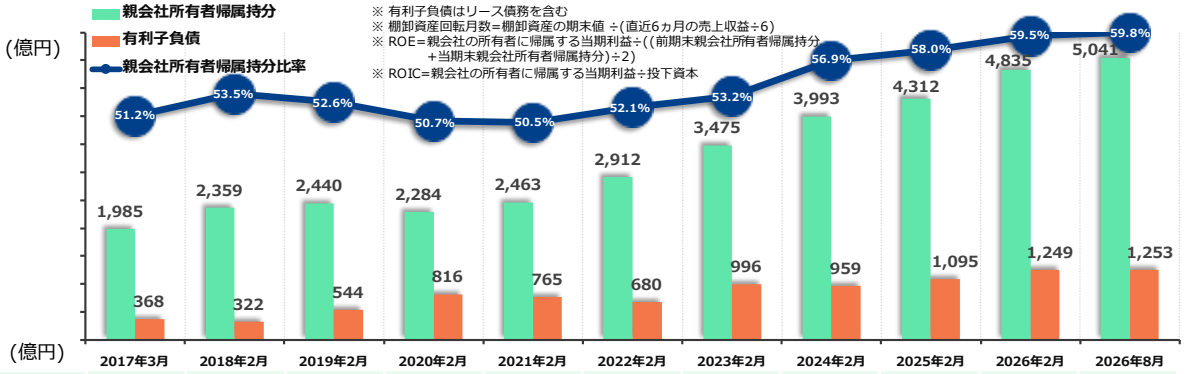
B/S構造の推移

2026年2月28日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 59.5%
- 親会社所有者帰属持分 4,835億円
- 有利子負債 1,249億円
  (現金及び現金同等物) 612億円
- D/Eレシオ 0.26
  (ネットD/Eレシオ) 0.13
- 棚卸資産 2,108億円
  (回転月数) (4.5ヶ月)
- ROE 7.7%
- ROIC 6.9%

2026年8月31日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 59.8%
- 親会社所有者帰属持分 5,041億円
- 有利子負債 1,253億円
  (現金及び現金同等物) 661億円
- D/Eレシオ 0.25
  (ネットD/Eレシオ) 0.12
- 棚卸資産 2,181億円
  (回転月数) (4.6ヶ月)



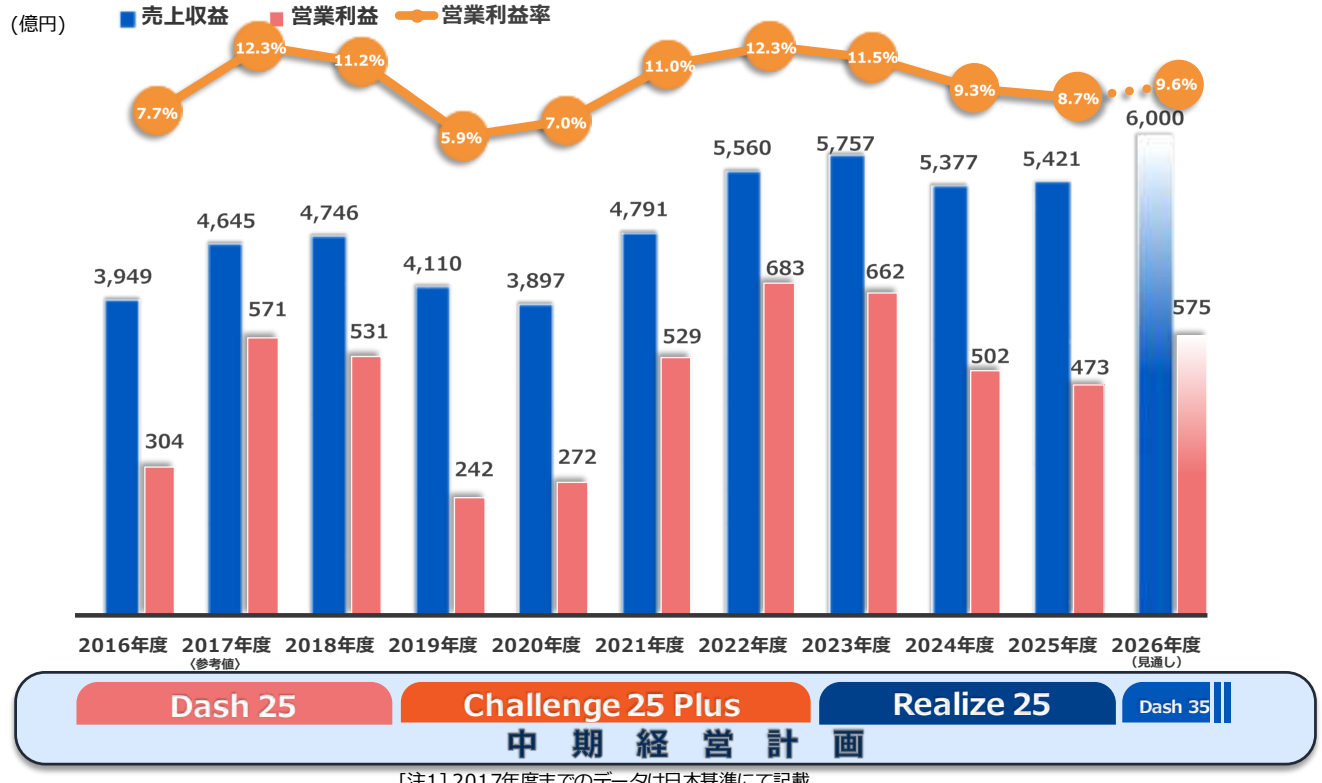
	2017年3月	2018年2月	2019年2月	2020年2月	2021年2月	2022年2月	2023年2月	2024年2月	2025年2月	2026年2月	2026年8月
営業CF	338	461	343	215	396	492	▲ 22	546	565	522	456
投資CF	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 206	▲ 96	▲ 242	▲ 197	▲ 293	▲ 213	▲ 442	▲ 296
フリーCF	**148**	**272**	**72**	**8**	**300**	**251**	**▲ 219**	**253**	**352**	**80**	**160**

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

<スキップ>

売上収益･営業利益推移（2016年度～2026年度見通し）

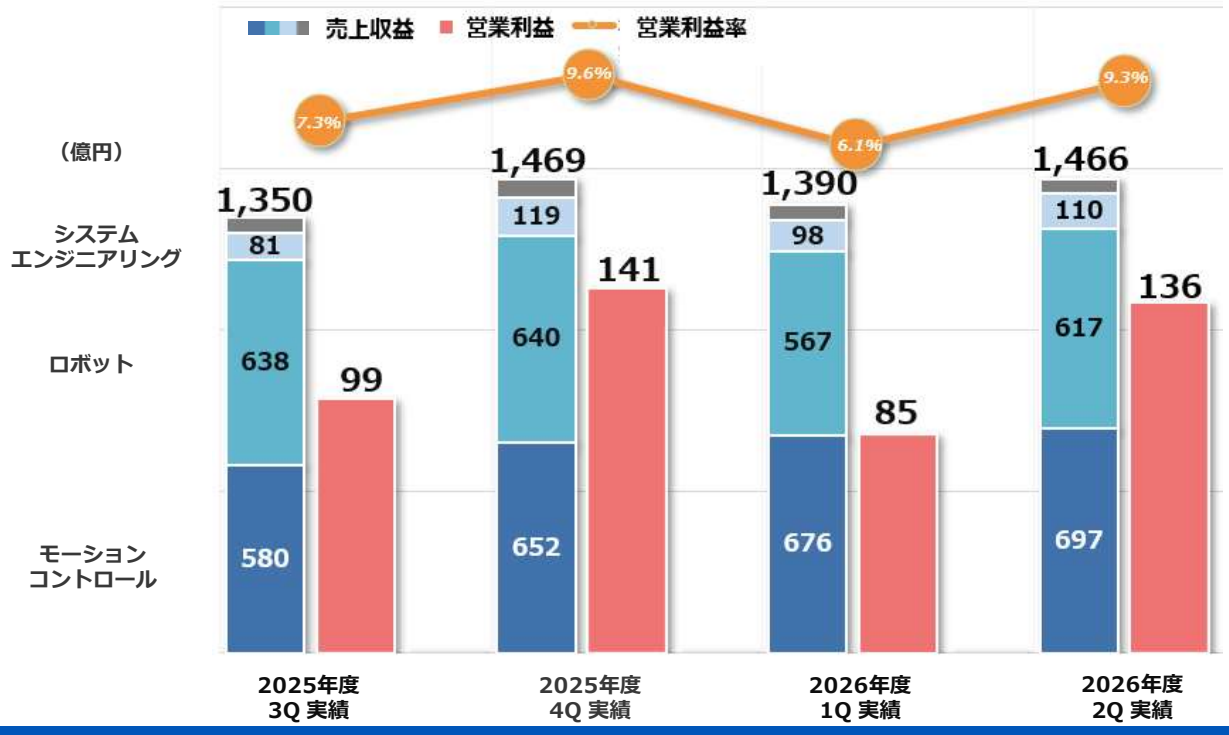


[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

売上収益・営業利益 四半期推移

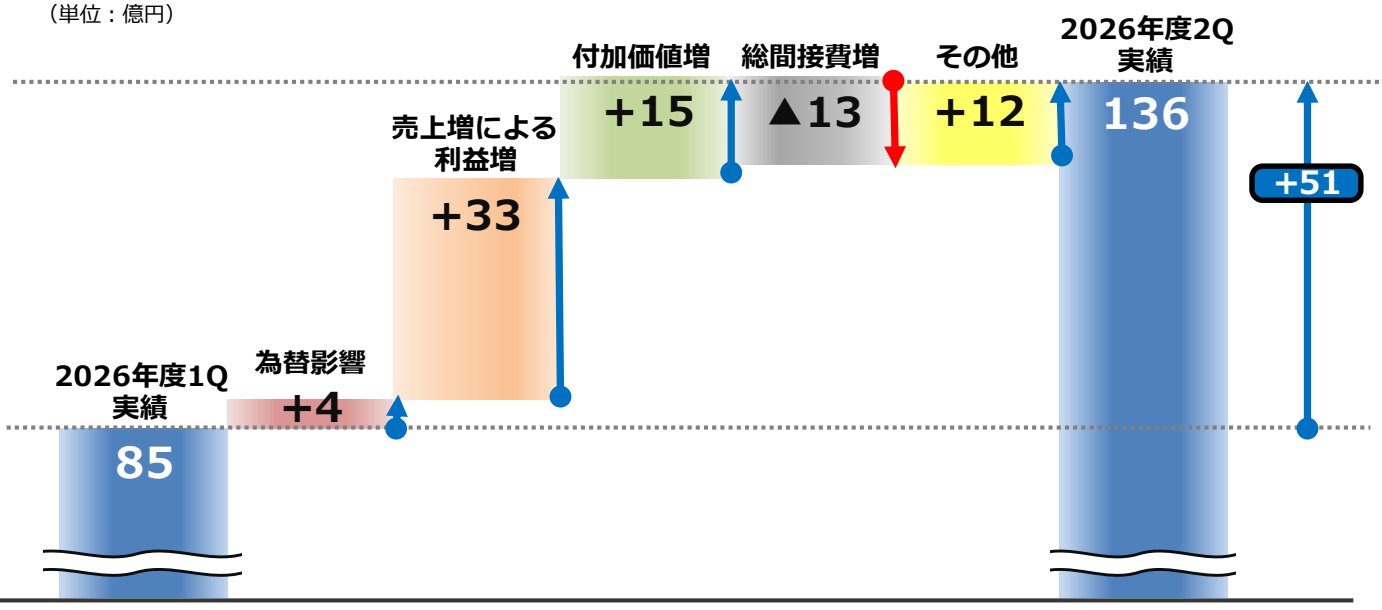


© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

直近四半期営業利益増減要因分析（2026年度 1Q ➔ 2026年度 2Q）

（単位：億円）



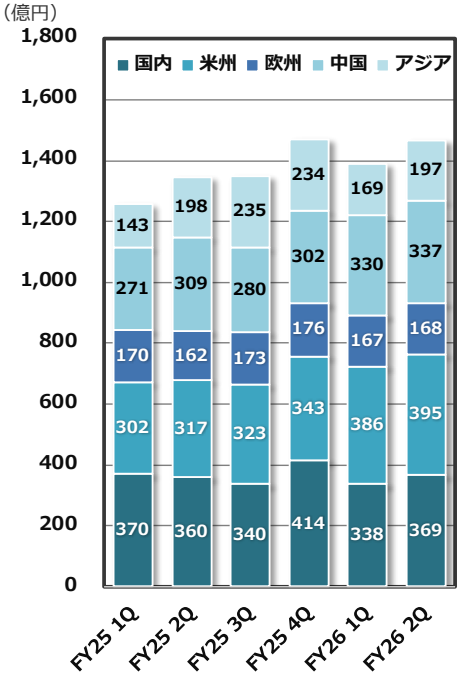
内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	＋ 2	＋ 7	▲ 0	▲ 4	＋ 3
ロボット	＋ 2	＋ 20	＋ 20	▲ 8	＋ 7
システムエンジニアリング	＋ 0	＋ 7	▲ 6	▲ 4	▲ 0
その他	＋ 0	▲ 1	＋ 0	＋ 2	＋ 1

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

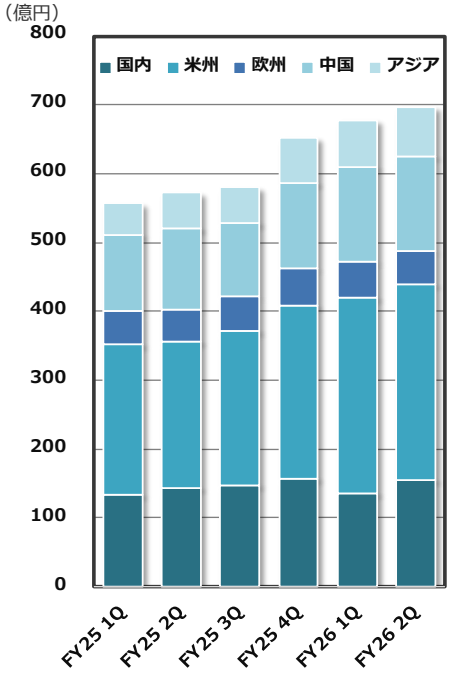
＜スキップ＞

売上収益 四半期推移

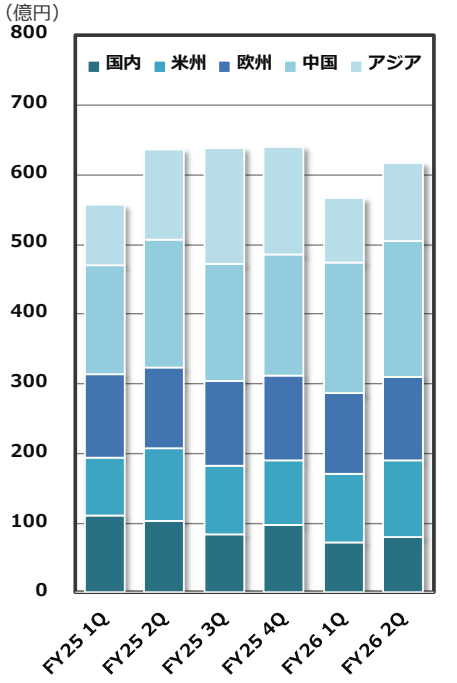
全 社



モーションコントロール



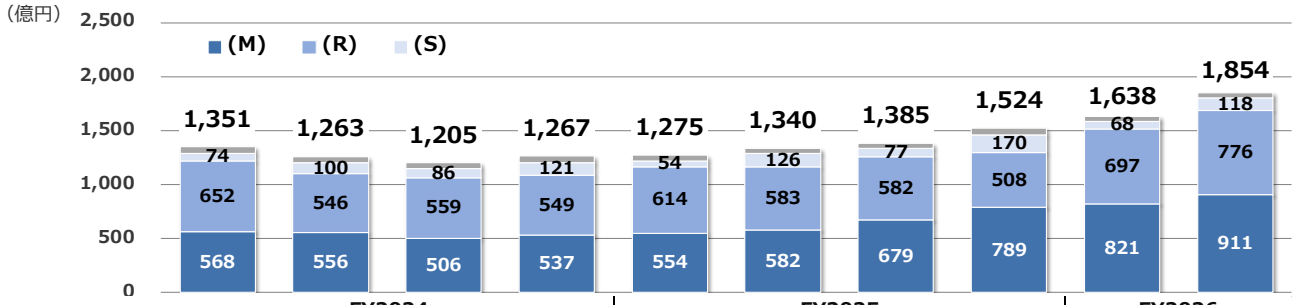
ロ ボ ッ ト



© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

四半期受注推移（セグメント別） ※為替は期中平均レートを使用



		FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2024 3Q	FY2024 4Q	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	FY2026 2Q
全社	YoY	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%	+6%	+15%	+20%	+29%	+38%
	QoQ	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%	+5%	+3%	+10%	+8%	+13%
YoY	(M)	▲3%	+15%	+5%	+20%	▲2%	+5%	+34%	+47%	+48%	+56%
	(R)	+12%	+3%	▲11%	+10%	▲6%	+7%	+4%	▲7%	+14%	+33%
	(S)	▲48%	▲40%	▲18%	+26%	▲27%	+25%	▲11%	+40%	+26%	▲6%
QoQ	(M)	+27%	▲2%	▲9%	+6%	+3%	+5%	+17%	+16%	+4%	+11%
	(R)	+30%	▲16%	+2%	▲2%	+12%	▲5%	▲0%	▲13%	+37%	+11%
	(S)	▲23%	+36%	▲14%	+41%	▲55%	+132%	▲39%	+122%	▲60%	+73%
為替レート	円/ドル	153.2	154.1	149.1	154.1	146.2	146.3	151.4	156.0	158.8	160.8
	円/ユーロ	165.5	167.6	162.1	160.6	162.0	169.9	176.3	183.3	184.9	185.0

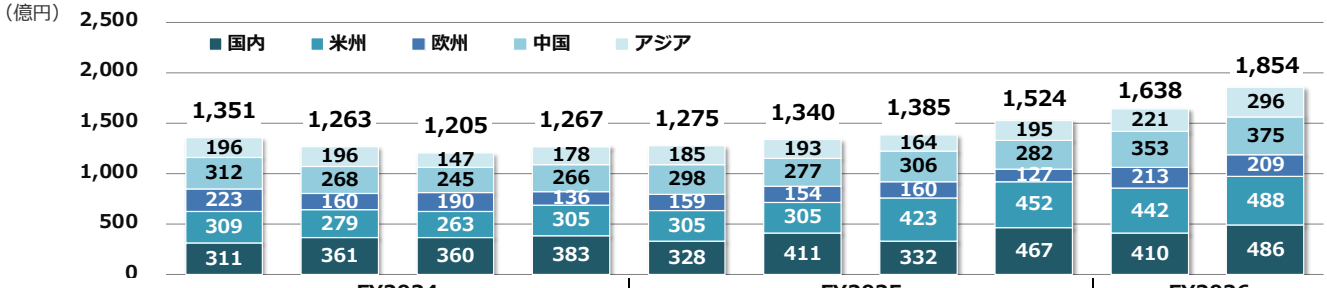
[注] 表記：（M）＝モーションコントロール，（R）＝ロボット，（S）＝システムエンジニアリング

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2024				FY2025				FY2026	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%	+6%	+15%	+20%	+29%	+38%
	QoQ	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%	+5%	+3%	+10%	+8%	+13%
YoY	国内	▲13%	+2%	+13%	+18%	+6%	+14%	▲8%	+22%	+25%	+18%
	米州	+10%	+7%	▲8%	+32%	▲1%	+9%	+61%	+48%	+45%	+60%
	欧州	+5%	▲13%	▲9%	▲15%	▲29%	▲4%	▲16%	▲7%	+34%	+36%
	中国	▲1%	▲3%	+1%	+11%	▲5%	+3%	+25%	+6%	+19%	+35%
	アジア	▲4%	+14%	▲34%	+22%	▲6%	▲1%	+11%	+10%	+19%	+53%
QoQ	国内	▲5%	+16%	▲0%	+6%	▲14%	+25%	▲19%	+41%	▲12%	+18%
	米州	+34%	▲10%	▲6%	+16%	+0%	▲0%	+39%	+7%	▲2%	+10%
	欧州	+40%	▲28%	+19%	▲28%	+17%	▲3%	+4%	▲21%	+68%	▲2%
	中国	+30%	▲14%	▲9%	+9%	+12%	▲7%	+10%	▲8%	+25%	+6%
	アジア	+34%	▲0%	▲25%	+21%	+4%	+5%	▲15%	+19%	+13%	+34%

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

参考定量情報（為替影響・受注・売上収益比率）

売上収益における為替影響

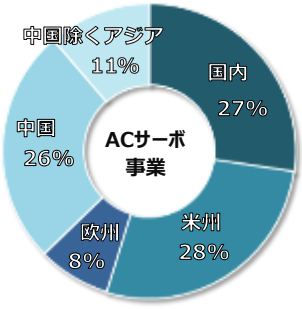
（単位：億円）		前年同期比 2026年度 上期	2026年度 見通し
全社		+206	+222
	モーションコントロール	+101	+110
	ロボット	+101	+108
	システムエンジニアリング	+2	+1
	その他	+1	+2

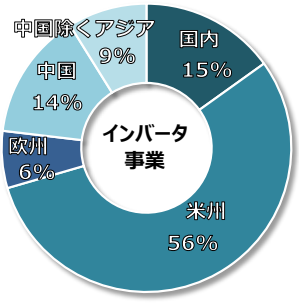
連結受注 事業別・所在地別増減率

FY2026 2Q 受注		モーションコントロール ACサーボ	モーションコントロール インバータ	ロボット
全社	YoY	+76%	+38%	+33%
	QoQ	+9%	+14%	+11%
YoY	国内	+41%	+32%	+30%
	米州	+170%	+48%	+12%
	欧州	+11%	+57%	+39%
	中国	+33%	+14%	+41%
	アジア	+195%	+12%	+35%
QoQ	国内	+4%	+14%	+39%
	米州	+2%	+23%	▲1%
	欧州	+5%	+25%	▲7%
	中国	+2%	▲4%	+9%
	アジア	+54%	▲17%	+28%

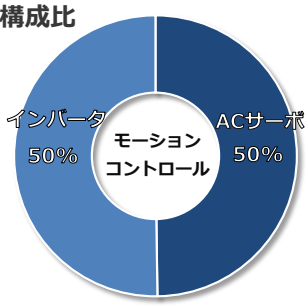
モーションコントロールセグメント 2026年度上期 売上収益構成比

所在地別売上収益構成比





事業別売上収益構成比



© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

YASKAWA

© 2026 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞